



## 環境資源工学会 会長よりご挨拶



## 環境資源工学科 学部・大学院 この1年

早稲田大学 環境資源工学会会員各位

初夏の風もすがすがしい季節になりました。早大環境資源工学会の皆様には、ますますご壮健のことと存じます。

2020年4月の緊急事態宣言発出以来、3年もの月日を重ね、やっとコロナ前の生活に戻れそうな兆しを感じられるようになりました。校友会からは4月3日以降、現役学生や大学関係者を含めた飲食を伴う立食形式での会合や懇親会も実施可との指針が示され、校歌斉唱時のマスク着用の推奨や飲食しながら大声で話すなどの行為を慎むなど、新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式に一定の配慮を示す必要はあるものの、本年度の総会ならびに懇親会はほぼ従前の形態にて実施できる見込みとなり嬉しく思っております。

さて、いろいろと制約が多かったコロナの日々ではありましたが、これにより課題としては認識されながらも、なかなか進まなかった働き方改革や、職場のIT化などが我が国では一気にすすんだ様に個人的には感じています。

コロナと同時期に起きたロシアのウクライナ侵攻やSDGsによる環境に対する意識の高まりなど、コロナ禍でも環境、資源・エネルギー関連のトピックスに触れない日々はありませんでした。これら地球規模の課題への対応も、コロナ禍を脱しつつある今後、さらに加速度的に推進されていくと思われ、環境資源工学科とその卒業生である我々の活躍の場はどんどん広がっていくと確信しています。

最後になりますが、6月24日（土）の総会にて皆様と再会でき、懇親会にて校歌や紺碧を斉唱できるのを楽しみにしております。本年度もどうかよろしくお願い申し上げます。

早稲田大学環境資源工学会 会長  
川崎 秀憲



## 環境資源工学会 2023年度総会 幹事長よりご挨拶

早稲田大学 環境資源工学会会員各位

2023年度の早稲田大学環境資源工学会 総会幹事団の幹事長を拝命いたしました92年名古屋研究室卒の鈴木 秀夫と申します。

毎年、環境資源工学科を卒業されたOB/OGの皆様が一堂に会して総会を実施してまいりましたが、この3年あまりは、新型コロナウイルスの影響で、2020年度、2021年度と開催中止、昨年度も規模を縮小して実施せざるを得ない状況となりました。旧交をあたため、結束をはかる場がなくなってしまったことに忸怩たる思いを持たれた方も多かったのではないのでしょうか。

ようやく世の中も少しずつ落ち着きを見せ始め、ウィズコロナの時代が本格的に到来するこのタイミングで本年度は6月24日（土）に対面で総会を開催することと致しました。既に92年、02年、12年卒及びM2のメンバーで2023年度総会幹事団を結成し準備を進めております。OB/OGの皆様におかれましては、ぜひともご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。またまわりの卒業生の方々にもお声がけ頂きたいと思っております。

この環境変化を「自ら機会を創りだし、その機会によって自らを変える」機会として捉え、互いに力強く新たな第一歩を踏み出す一日としてまいりましょう!

早稲田大学環境資源工学会  
2023年度総会幹事長  
鈴木 秀夫



### 2022年

#### 4月:

入学式（対面）⇒環境資源工学科  
新1年生77名が入学  
各学年ガイダンス（対面）  
春学期授業の開始⇒  
講義は対面あるいはオンライン、  
実験・演習は原則として対面  
村田克准教授逝去

#### 5月:

大学院修士課程推薦面接試験の実施  
（オンライン）  
軽井沢セミナーハウスにて新1年生の  
オリエンテーションを実施

#### 6月:

環境資源工学会総会・講演会の開催

#### 7月:

大学院修士課程一般入試:  
筆記試験・面接試験の実施（対面）  
9月卒業生・修了生の卒論・修論の  
提出並びに発表会

#### 8月:

オープンキャンパスの開催(対面)  
科学実験教室ユニラブの開催(対面)

#### 9月:

学科主任交代 栗原正典教授  
⇒内田悦生教授  
秋学期授業の開始⇒  
講義は対面あるいはオンライン、  
実験・演習は原則として対面

#### 10月:

香村一夫教授（現名誉教授）の最終  
講義

#### 11月:

理工展およびペアレンツデーの開催  
（対面）  
指定校推薦面接試験の実施  
（オンライン）

#### 12月:

研究室説明会および研究室仮配属の  
決定

### 2023年

#### 1月:

卒論・修論の提出（オンライン）

#### 2月:

卒論・修論発表会（原則対面）

#### 3月:

学位授与式  
卒業式・修了式（早稲田アリーナ）  
謝恩会（ホテル椿山荘東京）  
新入生ガイダンス

## 連絡先更新のお願い

住所、勤務先等に変更があった方は、  
下記 HPページ URLより、変更を  
行うことができますので、ご活用ください。  
<https://w-shigen.org> 「会員登録・変更届」

### 修了生



### 卒業生



## 伊坪 徳宏 先生

- ・ 出身地 愛知県豊橋市
- ・ 血液型 A
- ・ 趣味・特技 スポーツ (特技と言えるものではありません)
- ・ 最近感動されたこと 忘れていた誕生日に学生やスタッフ、家族からお祝いされたこと
- ・ 好き、苦手な食べ物 なんでも食べます
- ・ 学生に贈る四字熟語 修己治人  
\* 自分研鑽に励んで徳を積みその徳で人々に良い影響を与えて社会を正しく治めること
- ・ 学生から先生へ一言  
**脱炭素社会、自然共生社会、資源循環社会、皆さんが理想とする社会を研究を通して実現していきましょう。**

## ～ 研究室メンバー～ (集合写真)



## 研究室紹介

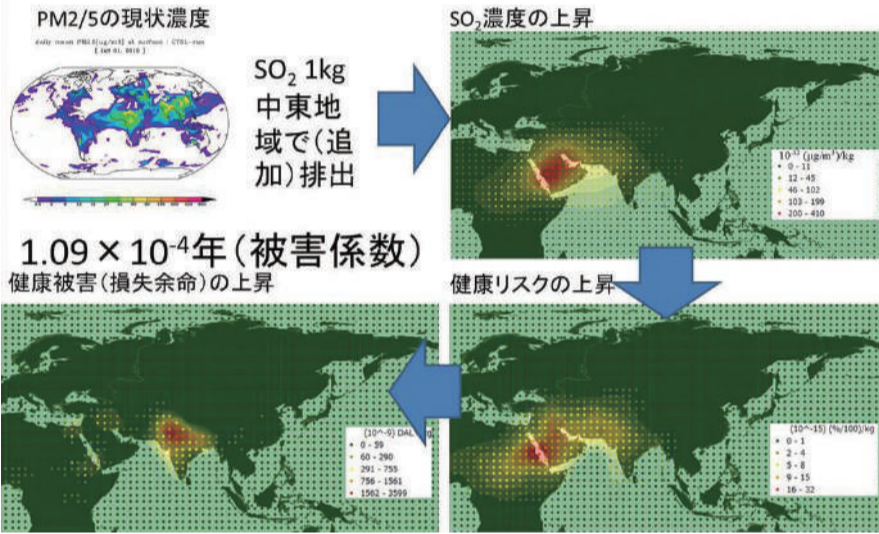
### ライフサイクル 環境評価研究室

伊坪 徳宏 教授  
Norihiro Itsubo



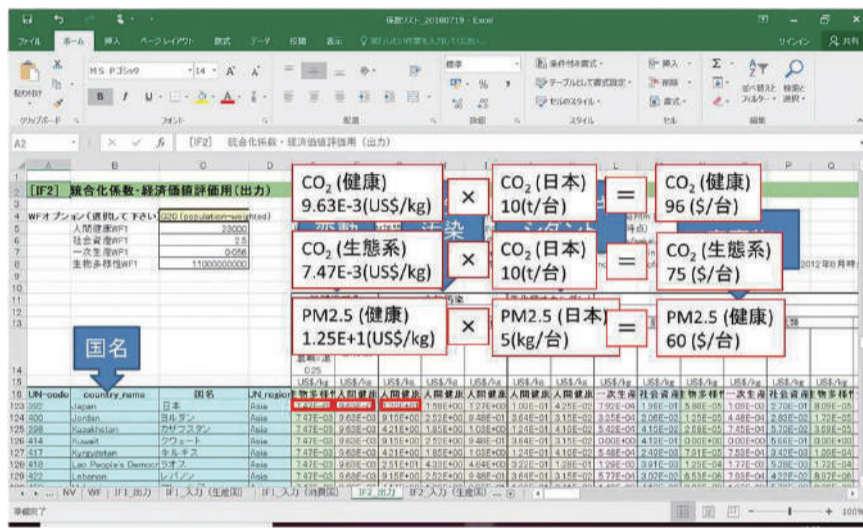
## ～ (研究紹介: ライフサイクル影響評価手法開発) ～

環境負荷 (例えばSO<sub>2</sub>排出) から環境影響 (例えば健康被害、生物多様性の消失) の関係を定量的に評価するモデルを構築します



## ～ (研究紹介: LCA用データベース開発) ～

気候変動、資源消費 (鉱物資源、水資源、化石燃料)、土地利用、大気汚染、廃棄物処分など、様々な影響をライフサイクルの視点で分析することを可能にするデータベースを構築します



## 川邊 能成 先生

- ・ 出身地 秋田県秋田市
- ・ 血液型 几帳面じゃないA型
- ・ 趣味・特技 旧街道自転車巡り、釣り
- ・ 最近感動されたこと 学生達のフレッシュさ
- ・ 好き、苦手な食べ物 好き 禁断のラーメン・ライス+餃子 嫌い ザーサイ
- ・ 学生に贈る四字熟語 七転八起
- ・ 学生から先生へ一言  
**新たな研究室なので期待と不安でいっぱいです (B4一同) 研究室の歴史の一步を築けていけるよう頑張ります (D1土田恭平)**

## ～ 研究室メンバー～ (集合写真)



## 研究室紹介

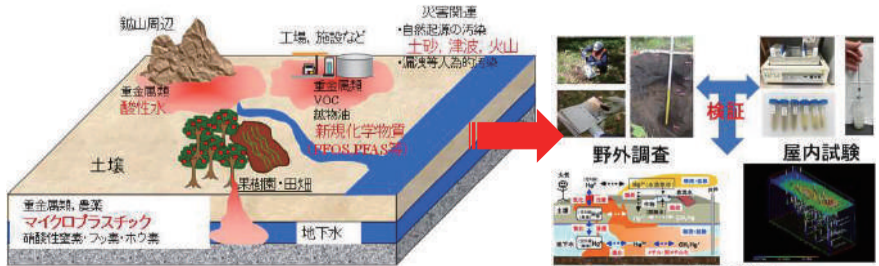
### 地圏環境学 研究室

川邊 能成 教授  
Yoshishige Kawabe



## ～ 地圏環境における環境問題の解決を目指して ～

「地圏環境学研究室」私たちの研究室では土壌・地下水汚染などの地圏環境における環境問題を合理的に解決するための浄化手法や評価に関する研究を実施しています。具体的には、生物機能や廃材・廃棄物等を活用した浄化手法や災害土砂等に含まれる有害化学物質のリスク評価に関する研究開発を行います。



地圏環境におけるさまざまな課題とその解決手法

## ～ 地圏環境問題の修復および評価に関する研究 ～

産業・資源開発と環境保全との調和がとれた社会形成に資する知見の蓄積、研究開発を目指します。

### ① 環境修復技術の開発

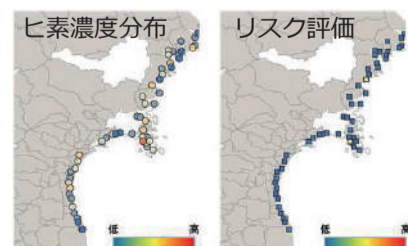
- ・ リサイクル材料・廃棄物等の活用
- ・ 生物・植物の機能を利用
- ・ 岩石の特徴を利用 など



津波堆積物 (2011.3)

### ② 環境評価技術の確立・開発

- ・ 鉱山、火山、温泉等周辺など 特異的地域
- ・ 新規化学物質 (マイクロプラスチックを含む)
- ・ 災害発生時における土砂等



津波堆積物中のヒ素濃度分布とリスク評価結果

村田 克 准教授 を偲んで



**村田 克 准教授  
略歴**

1989年3月 資源工学科（名古屋研究室）（現 環境資源工学科）を卒業  
 1991年3月 資源及び材料工学専攻修士課程修了、1994年3月 同博士課程修了  
 1994年4月（財）労働科学研究所、2010年4月 早稲田大学理工学術院総合研究所  
 2016年4月 環境資源工学科准教授。環境安全工学研究室を主催し、研究活動及び学生の指導にあたる。  
 2022年4月28日 病気のため逝去 享年56歳

**【恩師】名古屋俊士 名誉教授**

村田君との出会いは、1988年4月名古屋研究室最初の学生として研究室に来ました。その後、修士課程、博士課程と進み6年間在籍しました。1994年労働科学研究所に就職した後も、時々大学を訪れ、研究室の学生などに対する指導は非常に的確で分かりやすく助言している姿はとても印象的でした。2016年村田君が准教授に就任したのはひとえに彼の努力の成果であり、我々の労働衛生工学の研究を引き継ぎ、更に後進を育てる人物と認められた瞬間でもあり、とても嬉しく思い出します。大好きな粉じんに関する研究を長きにわたり一緒に出来たことは、本当に良い思い出となりました。本当に長い間ありがとうございました。ここに村田克君のご冥福を心よりお祈りいたします。

**【共同研究者:興研株】久保田裕仁さん**

私が労働衛生に携わり始めたころから、村田先生は次代を担う研究者でした。縁あって名古屋研、村田研でお世話になり、研究をご一緒できたことは、私の今後にとって非常に大きなことであります。先生は日ごろから、労働者の健康を守るためにはどうすればよいのか、どんな研究が必要か、成果を社会にどう還元して行くかを考えていました。労働衛生行政が大きく変わろうとしている中、今後ますます先生の力が必要となるはずでした。志半ばで先生ご自身が一番無念だと思えます。ご冥福をお祈りいたします。

**【同期: 1994博士修了】戸塚（土佐谷）優子さん**

大学・大学院時代の9年間、その後もたびたび一緒に仕事をさせてもらいました。いつでもニコニコ顔で、私が後輩指導でピリピリしているときも、長い目でみようとアドバイスしてくれました。そんな村田くんは、学生さんに好かれていましたよね。闘病中も病院にモニター・ライトなどを買込み、上半身だけ着替えて最後まで授業をされていたと、奥様より聞きました。飲み会で人の話をきく村田くんのニコニコ顔がまたみたいです。

**【村田研: 2019修士修了】小西智也さん**

私は在学中、先生に大変お世話になりました。先生とともに多くの現場を訪問し、研究に対する姿勢や労働衛生の重要性についてご指導いただきました。さらに一期生として先生や仲間たちと、研究室の基盤づくりに携わられたことは、今でも私の誇りです。先生の穏やかな人柄と皆を包み込む優しさにもう触れることができないと思うと、胸が痛みます。研究室の一期生として恥じぬよう先生の教えを胸にこれからも精一杯生きていきます。村田克先生、本当にありがとうございました。

**【村田研: 2022修士修了】兼間貴子さん**

村田先生には、学部1年のころから担任として学部4年からは研究室の先生として、約6年お世話になりました。たくさん迷惑をかけてたくさんお世話になってたくさん面倒を見てくれた先生は、私にとって本当にお父さんのような存在でした。優しくて周りから愛されていた先生の研究室の最後の生徒になれたことを誇りに思います。天国で幸せであることを願っています。先生、ありがとう。



環境資源工学科教員/OBが関わったSDGsをテーマとする書籍が、3冊出版されました



・2022年3月発売  
 ・マガジンハウス  
 ・1430円（税込）

温室効果ガス・地球温暖化・異常気象・海洋プラスチック・SDGs・ジオエンジニアリング

キミは何個答えられる？

小中学生を対象にした、考える力をつける学習マンガ。大河内教授がアースドクターとして、主人公の小学生3人に地球上で起きている問題と解決法を、ナビゲートしておられます。「世界で出されるCO<sub>2</sub>は100年前とくらべて何倍？」といったクイズも数多く掲載されている、SDGsを学ぶ楽しい一冊です。



・2022年11月発売  
 ・エネルギーフォーラム  
 ・1760円（税込）

限りある資源をいかに有効活用するか。「資源循環」という独自の視点でSDGsを論じる、所教授会心の著作です。

【第1章】経済・社会・環境の調和を目指すSDGs【第2章】サーキュラー・エコノミーと資源とSDGs【第3章】カーボンニュートラルを支えるリサイクル【第4章】SDGsを達成するための多様性  
 タイトルを見ただけでも、所教授独自の視点が伝わってきます。是非、ご一読を。



・2022年12月発売  
 ・日本実業出版社  
 ・1760円（税込）

SDGsは、国や自治体、大企業がやれば良いのでは。そう考えている中小企業経営者がほとんど。そんな、中小企業にターゲットを絞って書かれています。

SDGsを勘違いしている方も多いようです。「覚えなくてはいけない事が多いのでは。」「2030年までで終わるのでしょ」「日本人には関係ない事も多いのでは」そんな勘違いを解くことから始めて、SDGsは地球という星、そして世界中の人間や動物たちへの思いやりと書かれています。

早大環境資源工学会奨学金給付者のご報告



山崎研究室 角田 英隼 さん



いつも大変お世話になっております。環境資源工学会の奨学金を賜り、光栄です。誠にありがとうございます。

私は、廃棄されているもみ殻を粉殻灰として再利用して、発泡ジオポリマーを作製する研究を行っていました。

現在は、新卒としてコンサルティング会社の中で、日々ビジネススキルや様々な業界の知識の勉強に励んでいます。正直に言えば直接的に、研究の中で身に付けた知識や技術に繋がらない仕事をしております。しかし、研究を通じて培われた目標設定をし、課題を発見し、仮説を生み出し、それを実験で検証し、考察に落とし込む考え方は、今の自分にとっても活かされていると実感しています。また、仮説・検証・考察を自分の言葉で発表を繰り返してきた経験は、何の仕事においても人前で発表することの自信となっております。それも学部時代の実験設備が整い、様々な分析機器を使う中で、恵まれた環境で研究できていたからこそ、その仮説・検証・考察ができ、力を身に付けることができた実感しております。皆様の手厚いご支援により、就職することができ、新米ながら日々の勉強に専念できております。ありがとうございます。今後ともご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。



古井研究室 小松原 立稀 さん

この度は、環境資源工学会の奨学生として採用していただき、大変光栄に存じます。ご支援していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

私は、シェール層における坑井不安定化問題の数値解析モデルに関する研究をしています。近年、非在来型資源開発が進む中で複雑な坑井を掘削することが増え、坑井不安定化問題が在来型資源開発よりも多く生じることが考えられます。それによる開発コスト及び非生産時間の増加も予測されます。私の研究では、石油・天然ガス開発における坑井不安定化問題を解決する糸口を届け、開発コスト及び非生産時間の低減に貢献できるのではないかと考えています。

皆様の手厚いご支援により、早稲田大学大学院に進学し、研究に専念できております。将来は、グローバルに働く石油生産技術者となり、エネルギー業界に貢献したいと思っております。

この度は、誠にありがとうございました。

総会案内と講演者紹介

令和5年(2023年)度 早稲田大学環境資源工学会年次総会

日時: 2023年6月24日(土) 13:30~17:10 (受付開始: 13:00)

場所: 早稲田大学西早稲田キャンパス 63号館2階03~05会議室

懇親会: 63号館1階ロームスクエア 17:30-19:00

- 早大環境資源工学会総会 13:30~14:10**
  - 早大環境資源工学会 活動報告等 川崎秀憲 会長
  - 環境資源工学科の近況報告 内田悦生 教授
- 新任の先生によるご講演(研究テーマ、研究室のご紹介など) 14:20~15:40**
  - 製品ライフサイクルの環境影響評価 伊坪徳宏 教授
  - 地圏環境における汚染問題とそのリスクおよび修復技術 川邊能成 教授
- 特別講演 15:50~17:10**
  - 「教育の力で溶かしていく世界の境界線」 HI合同会社 代表 平原依文 様
  - 対談) 創造理工学部環境資源工学科 所 千晴 教授
- 懇親会 17:30~19:00**



平原 依文 (ヒラハラ イボン)

HI合同会社:代表

青年版ダボス会議 One Young World:日本代表

教育未来創造会議(内閣官房): 構成員

株式会社Fun Group: Chief Sustainability Officer

小学2年生から単身で中国、カナダ、メキシコ、スペインに留学。東日本大震災をきっかけに帰国し、早稲田大学国際教養学部に入社。新卒でジョンソン・エンド・ジョンソンに入社し、デジタルマーケティングを担当。その後、組織開発コンサルへ転職し、CMOとしてマーケティングを牽引しながら、広報とブランドコンサルティングを推進。「地球を一つの学校にする」をミッションに掲げるWORLDROADを設立し、世界中の人々がお互いから学び合える教育事業を立ち上げる。2022年には自身の夢である「社会の境界線を溶かす」を実現するために、HI合同会社を設立。SDGs教育を軸に、国内外の企業や、個人に対して、一人ひとりが自分の軸を通じて輝ける、持続可能な社会のあり方やビジネスモデルを追求する。ForbesJAPAN2021年度「今年の顔100人」に選出。

ご参考:早稲田ウィークリー

『「原動力は人との出会い」若手起業家の歩んだ道とこれから』

<https://www.waseda.jp/inst/weekly/features/specialissue-hirahara/>

早稲田大学  
環境資源  
工学会からの  
お願い

早大環境資源工学会では、毎年2名の学部4年生に奨学金を支給しており、皆様からの寄付金(支援金)が原資となっておりますので、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

2022年度就職・進路

\* 順不同

学部生

- デジタルプロセス(株)
- (株)アイソルート
- (株)シグマクシス
- (株)オービック
- 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)
- 丸紅(株)
- (株)ベikalレント・コンサルティング
- 日本電気(株)
- 日本製鉄(株)
- 三井不動産レジデンシャル(株)
- (株)新陽社
- 味の素(株)
- (株)関電エネルギーソリューション
- 東日本旅客鉄道(株)
- 早稲田大学大学院
- (地球・環境資源理工学専攻)
- (表現工学専攻)
- 北海道大学大学院
- 東京大学大学院
- 京都大学大学院
- 東京工業大学大学院
- 東北大学大学院
- 航空大学校

大学院生

- (株)日立プラントサービス
- (株)野村総合研究所
- コスモエネルギー開発(株)
- AGC(株)
- (株)荏原製作所
- PwCコンサルティング合同会社
- 三井海洋開発(株)
- 日本イー・エス・エム(株)
- 東洋エンジニアリング(株)
- 東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)
- 三井化学(株)
- (株)オービック
- ソフトバンク(株)
- (株)ベネッセコーポレーション
- 三菱商事(株)
- デロイトトーマツサイバー合同会社
- 森永乳業(株)
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ
- (株)INPEX
- 日本アイ・ピー・エム(株)
- 三菱マテリアル(株)
- 凸版印刷(株)
- (株)日立製作所



環境資源工学会 会員数 (2023年4月8日)

	一般会員	終身会員	合計
総会員	4,885人	1,146人	6,031人
逝去者	797人	223人	1,020人
総会員(逝去者除く)	4,088人	923人	5,011人
住所不明	1,592人	138人	1,730人
住所確認	2,496人	785人	3,281人
住所不明率	39%	15%	35%

- DOWAホールディングス(株)
- JFEスチール(株)
- (株)クニエ
- 東京ガス(株)
- 田中貴金属工業(株)
- 中部電力パワーグリッド(株)
- 東京電力ホールディングス(株)
- 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
- 国土交通省
- 環境省
- 東京大学大学院
- 早稲田大学

【編集後記】

声がかからなければ、なかなか訪れない51号館で、懐かしい再会と新しい出会いの中、右往左往しながら仕上げました。原稿依頼を快く引き受けてくださった方や幹事メンバーの協力に感謝しています。(会報部会長)

早大 環境資源工学会

検索